



AA日本ニューズレター

No.194

■ 「第一のことは第一に」 酒をやめられない青年の刑事事件(国選弁護人)を担当して

弁護士 石川浩一郎

1 はじめに

昨年私は、酒をやめられない青年の刑事事件(国選弁護人)を担当し、AAの皆様のご協力を頂きました。改めて感謝申し上げます。

私が担当した青年は、酒を飲み強盗致傷事件を起こしてしまいました。被害者の怪我は擦り傷程度、被害金額は1,000円でしたが、強盗致傷事件は重大犯罪です。4年を超える懲役刑が下されました。判決後、彼は「AAと繋がれたことは僕の人生において大きなターニングポイントになりました。」「やっと覚悟ができました。」と言ってくれました。これから少し、法廷で語られたことを中心に彼の話をさせていただきます。

2 飲酒と犯罪

彼は、活発な子供で小学生のころからバレーボールをやり、週末は父親と一緒にバレーボールの練習に行っていました。彼の父親は酒が好きで毎日飲んでいました。週末のバレーボールの練習の帰りにも彼の父親は酒を飲み、小学生であった彼にも缶チューハイを買い与え、飲ませていました。彼の飲酒は小学生時代にはじまりましたが、週末以外は飲酒することもなく、中学に進んだ時点では飲酒することもなくなっていました。

彼の飲酒が習慣化したのは、高校を中退し、働くようになってからでした。職場の仲間と仕事終わりによく居酒屋で飲んでいました。そのような中、仲の良かった父親の死や離婚という出来事を通じて、彼の飲酒量は増えました。連日記憶をなくすまで飲み、暴れたり、問題を起こしたりしていました。目が覚めると、飲んでいたときの記憶がない状態でした。周囲からは「酒を飲まなければ良い奴なのに」と言われるようになりました。

そのうち、酒を飲まなければ仕事に行けなくなり、酒を飲んで仕事をサボるようになりました。ついには、酒を飲んで犯罪を起こしました。私が担当する事件を起こすまでに彼は4件の事件を起こしていました。刑務所から出て、酒を飲み、間もなく犯罪を起こすという事を繰り返していました。

いずれも犯行時の記憶がない状態での事件でした。罪を犯すたびに今度こそは酒をやめようと思うのですが、出所し、酒が飲める状態になると飲んでしまいました。

今回の事件も、就職や今後の生活についての相談実施を予定していた中、酒を飲み、出所後2週間で起こしたものでした。事件から4時間後の警察署での検査では呼気から高濃度のアルコール

が検出されました。今回も彼には、犯行時の記憶がありませんでした。

3 AAとの繋がった彼の変化

彼は、今回の事件を起こした当時、酒をやめられない自分の状態、アルコール依存症であるとの認識がありませんでした。自分は違う、大丈夫、自分で何とかできると思っていたのです。

私は以前、ギャンブル依存症の方が起こした刑事事件を担当し、GAに協力をお願いしたことがありました。その経験から、今回、AAの皆様、常任理事会の皆様にご繋がらせて頂きました。

皆様には多大なるご協力を頂きました。彼にアルコール依存症を理解して貰い、彼が一人でないこと、仲間と一緒に酒をやめ続けて行けることなどを伝えたりするアドバイスを頂いたり、メンバーの方をご紹介頂いたりしました。

ご紹介いただいたメンバーの方とともに遠くの拘置所まで来て頂き、彼に会って話もして頂きました。AAのことやご自身の経験、経験と力と希望の話なども頂きました。彼が笑顔を見せ、目をキラキラさせてメンバーの方と会話していたのが印象的でした。

裁判では、メンバーに法廷で証人としてお話して頂きました。

彼が刑務所に入った後や社会復帰後の支援の話だけでなく、ご自身の壮絶な半生や家族関係の修復が図られるまでの道のり等をお話し頂きました。



また、日本では現在ビッグブック(日本語版ハードカバー版)個人の物語の改訂のための原稿を募集中です。(詳細はNL192号、JSOホームページに掲載中。2020年1月末締切)まさにこの冊子と同じ目的をもって日本語版のビッグブックの後半に掲載されるものです。AAメンバーご自身の、個人の(回復の)物語の応募もお待ちしております。

■ ニュースレターって何？

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

ニュースレター担当理事 堀

皆さん、ニュースレターって何なのか知っていますか？2ヶ月に1回、サービスに関する記事が載っているお知らせ？関係者への広報に使える資料？BOX-916は誌上を通じたミーティングと分かりやすいが、ニュースレターは何なのか、何のために発行されているのかと改めて聞かれると、はっきりと答えられない。

AA日本の20周年記念集会にちなんで発行された『いくたびも出会いを重ねて AA日本20年の歩み』112頁の「AA日本ニュースレター索引集」を見ると、No.1は1986年10月20日に創刊され、内容は「'86秋季関東ラウンドアップ(10/19~21)(春に続いて秋)」、「各委員会活動報告(文書・総務・地区委員会幹事集会・病院施設委員会)」となっている。ここからスタートして本号である194号に至るまで、32年にわたって年6回ずつ発行されてきた。

さらに『AA日本30周年記念誌1995~2005「今、そして未来へ」』127頁には、No.50(95/1/20)は、「AA日本20周年記念集会(3/24~26)特別号／さあ、行こう、大宮へ!」、No.100(03/6/20)は「100号記念特集号 私のステップ 1.2.3」がトピックとして記載されている。その他、これまでに掲載された主な記事を挙げてみると、献金のお願いや新刊のお知らせ、海外のイベントに参加した報告、関係者からの寄稿、全国のグループ紹介などなど実に多岐にわたっている。

現在、ニュースレターは年6回発行しているが、内容は、関係者からの寄稿、常任理事・評議員らの報告(就任、退任、評議会、WSMなど)、各地域のイベント紹介、JSOより(書籍案内、伝統に関する分かち合い)などで構成されている。創刊以来、貴重なサービスの分かち合いをするとともに、関係者との橋渡しの役割を果たしてきたのではないかと思います。

ちなみに、アメリカのAAでBOX-916に相当するものは「GRAPEVINE」であるが、ニュースレターに相当するものは「Box459」である。Box459は、年4回発行で、サービス・書籍・イベントに関する情報、各グループ、サービス委員会、個人からの分か

ち合いとなっている。No.192(18/10/20)にはBox459(Vol.64, No.1 / Spring 2018)からの翻訳記事(「AA鄭州(ていしゅう)コンベンション:ソブライティへの鈍行列車」)が掲載されているので、ご一読いただければと思う。

さて、自分自身のニュースレターとの関係を振り返ってみると、ニュースレター担当でありながら、甚だ申し訳ないのだが、どうしても2ヶ月に1回BOX-916に付いてくるものといった程度の認識しか持ち合わせていなかった。しかしながら、40周年記念集会実行委員会委員長をさせていただいていた時は、幾度となく特集を組んでもらい、活動状況、参加の呼びかけ、終了した後のお礼を掲載していただき大変お世話になった。また、関係者からのAAに対する厳しい批判を含んだ記事には、ハッとさせられるものがある。No.184(17/6/20)「日本のAAについて感じていること、期待していること(一応援団として)」には、関係者からの今の日本のAAに対する率直な意見が寄せられていて、広報のあり方やアノニシティについて考えさせられ、大いに参考になった。

こうやって改めて考えてみるとニュースレターには、BOX-916とは違った魅力、役割、可能性があることに気付かされる。もう一度、ニュースレターの内容について担当理事として考えてみたい。もっと常任理事会からの発信を増やしたり、メンバーの関心がある伝統やサービスに関する分かち合いをしたり、広報にも活用できるような内容にできればと考えている。全国の皆さんからも何かアイデア、ニュースレターの活用方法の分かち合いなど、ご意見をいただければと思う。

ところでこのニュースレターは、第68号から最新号までがpdf化されてホームページでもお読みいただけます。

また先日、仲間の大きな協力により第1号から第67号もpdf化されました。ありがとうございました。近くホームページに掲載いたします。もう少しお待ちください。

■ 第24回評議会が開催されました

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

日時:2019年2月9日(土)13時~11日(月)15時

場所:幕張セミナーハウス

関係者の皆様の大きなお力添えによって、また、AAグループ、AAメンバーの献身と献金によって、今年もまた、無事に開催されましたこと、心よりお礼申し上げます。出席者からの投稿を次号(195号、4月20日発行)に予定しています。

また今号の最終頁には188号にも掲載しました「AAの三つのレガシー=三角形」を再掲載いたします。コピーしていただいても構いません。どうぞご活用ください。

家族でなく酒を選び、瀕死の状態になって、病院の入退院を繰り返す、幻聴・幻視に苦しんでもなお飲まずにはいられない状態、「飲んでも死ぬ、飲まなくても死ぬ」との話や酒をやめ続けて生活することでやり直せた話等を法廷で、彼に語りかけるように話して頂きました。

彼だけでなく、裁判官、裁判員の皆様、傍聴人の方々にもアルコール依存症の苦しさ、壮絶さ、酒をやめ続けて生活する意味が伝わったと思います。

メンバーの話を受け、彼の尋問が行われました。飲酒歴、過去の事件歴、今回の事件の経緯、被害者への謝罪、反省、今後AAと繋がり酒をやめた生活を送っていくことなどについて彼の言葉で語られました。

法廷での彼の姿は、私が最初に拘留されている彼にあったときの姿とは変わっていました。AAやメンバーと繋がり、孤独感、喪失感、諦めといった暗さ、重さといったような影が消えつつあるように感じました。裁判までの間に、自分の棚卸をし、今後の生活に対する希望を感じていたのだと思います。

裁判の最後に、彼は「今回、AAの皆様から「第一のことは第一に」という事を教えて貰いました。自分にとっての第一はどう考えても「酒をやめること」です。被害者の方には体だけでなく、心にも傷を負わせてしまいました。本当に申し訳なかったです。これから自分の人生をやり直すため、酒をやめることを第一にAAのメンバー、先輩の方たちの協力の下、生活を送っていきたくと思います。」というような覚悟の言葉を述べました。

裁判では先の述べたように決して軽くはない判決が下されました。

判決言い渡し後の面会で彼は、感謝の言葉を述べ、今後AAと繋がって生活していくこと、自分の覚悟について話してくれました。彼の表情には明らかに希望がありました。

4 今回の事件を通して思うこと

彼がAAと繋がることができ、希望を見出しせことは、弁護士としても有難く、担当させて頂いて良かったと感じることができました。ただ、もっと早く、彼がAAと繋がることができたら、被害者が生まれることも、彼の貴重な人生の時間が奪われることもなかったことを思うと残念です。

一人で苦しんでいる方がAAに繋がれる仕組み作りの活動が実を結び、一人でも多くの方が、一刻も早く希望を持てるようになって欲しいと思っています。

■ 『回復の物語 Vol.5』 発刊のお知らせ

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

出版担当理事 大迫

2019年2月、『アルコールクス・アノニマス 回復の物語 Vol.5』が発刊となりました各地域のセントラルオフィスとJSOにて300円

(税込、B6サイズ、91頁)で頒布しております。



この冊子は、AAの基本テキスト『アルコールクス・アノニマス(通称:ビッグブック)』の英語第4版(2001年改訂)の後半に収録された回復の物語41編の中から6編の翻訳となります。

本書には「自分を安売りしたセールスマン」「僕に欠けていたもの」「なぜなら私はアルコールだから」「必要なものは、すべて与えられた」「離陸不能」「AAで学んだ飲まない生き方」の6編が収録され、どの物語もアルコールリズムからどのように回復したかをアルコール本人が語っています。

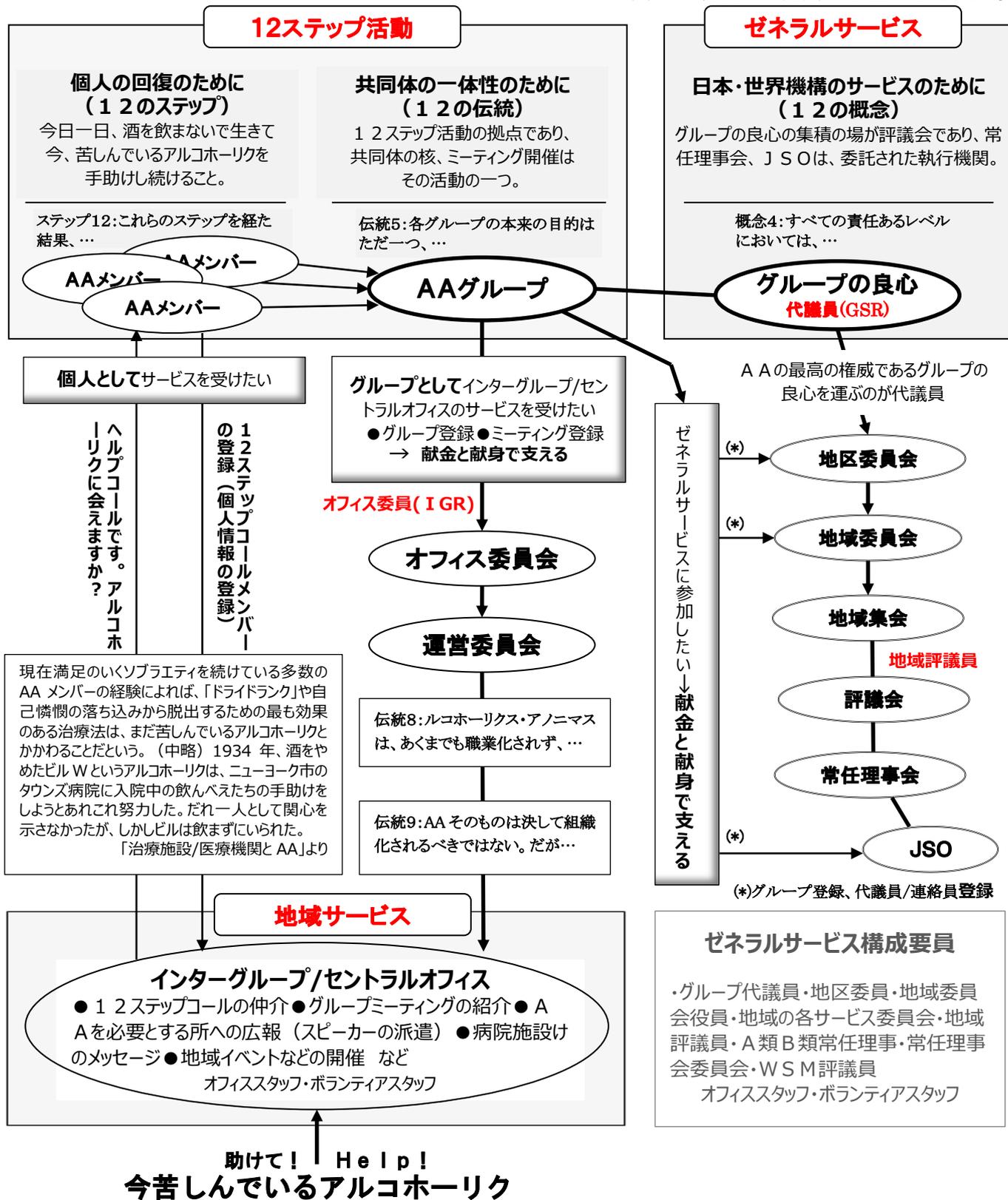
本書の前書きに書かれているように、この冊子がAA内外の多くの人々に、とりわけ、今苦しんでいるアルコールに読まれ、そして、「そうだ、自分と全く同じだ。何とか自分も回復したい」(ビッグブック43ページ)という共感の輪と回復の連鎖がアルコールのあいだで広がっていくことを願っております。またアルコール問題に関わる様々な関係者の皆様にも是非ご活用頂ければ幸いです。

この『回復の物語』翻訳分冊シリーズの創刊に至る経緯は、2003年AA日本第8回評議会で出版計画として承認されたことに遡ります。41編の物語は、20数名のボランティアの方たちによって翻訳されました。その後、原文が忠実に翻訳されているかチェックをしたり、ビッグブック本文の表現に合わせるなどの校正作業に、多くの時間が費やされました。また同時進行で複数の出版物の準備を進めていることもあり、それから7年後の2009年2月、パイロット版1000冊が発刊されました。これは好評で3週間で完売となり、2010年には正式版Vol.1が2000冊発刊となりました。パイロット版発刊から今月でちょうど10年が経ちます。この間に当時下訳して頂いたボランティア何名かは既に鬼籍に入っておられます。一つの翻訳出版物ができるまでに、多くの時間がかかり、その陰には大勢の方の協力と情熱があることをこの機会に読者の皆さんに知って頂ければ幸いです。

なお『回復の物語 Vol.6』は2019年中の発刊を計画しており最終巻である『同 Vol.7』は2020年発刊を目標としています。

AAの三つのレガシー = 三角形

※ニューズレター92号(2002年2月20日発行)の3頁をリメイクしました。



編集：ニューズレター編集委員会・発行：NPO法人AA日本ゼネラルサービス

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 3F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

http://www.aajapan.org jso-1@fol.hi-ho.ne.jp

(月～金)10:00～18:00 (土・日・祝) 休